

大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局
大阪府中央区道修町3-3-10
日宝道修町ビル3F
06-6232-1095

謹賀新年



2018年を振り返る
大阪損保革新懇重大ニュース

①結成20周年・21回定例総会講演会に 146名が集う

記念講演：木村草太さん(首都大学東京教授)が憲法を職場・社会で生かすために分かりやすく講演。基調報告：松浦章さんが「損保産業の社会的責任を問いつける」をテーマに報告。連帯挨拶：国会で初めて代理店問題を取り上げた大門実紀史参議院議員がかけつける。アピール「次の10年へ状況を変えよう」を採択。恒例の懇親会に69名。



②安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名5000筆目標達成 5167筆

会員が奮闘・一人で300筆を超える会員も 職場で近所で、買い物先など創意工夫し集める。100筆を超えて集めた会員が多く出現。

③「6・8代理店シンポジウム」に過去最高の176名が集う

昨年の結成20周年・第21回総会は近年最高の参加者で盛会でした。記念講演の木村草太さんは憲法第14条「法の下での平等」、第24条「婚姻の成立」の背景を解説、「憲法が保障する差別されない権利」として個人の尊重の大切さを強調されました。参加者は憲法改悪反対のたたかいに改めて決意しました。昨年は、災害列島日本と言われる大災害が続き、損保労働者と代理店は調査・相談・支払いに大奮闘、社会的役割の発揮に努力しました。今年も奮闘することを誓い、21年目の活動に入りました。

代表世話人 野村英隆

シンポジウム『あらためて損保代理店の現状と未来を考える』を開催。世話人の松浦章さんが基調報告。大門実紀史参議院議員が国会報告。「代理店手数料ポイント制度」「乗合拒否問題」「事故有等級制度」などで9名が会場発言。懇親会には76名が参加。



④近畿財務局に8度目の要請書を提出し 回答を求める

3月15日に「顧客第一」で健全な損保産業をめざす代理店有志(代理店プロジェクト)は「みどろすじ総行動」に参加。今年は金融庁の方針「フィデューシャリー・デューティー」(顧客本位の業務運営)を損保各社に徹底させ、顧客本位の代理店制度への転換を求めました。4月12日に回答を求め再度訪問しました。

⑤結成20周年プレイベント開催

〈第一弾〉2月16日講演会「原発のリスクとコストを考える」講師：大島堅一さん（龍谷大学教授）56名が参加。

〈第二弾〉4月19日講演会「南スーダン最新取材とアベ政権問題」講師：西谷文和さん(フリージャーナリスト)「イラクの子どもを救う会」のキャンパを訴え、4万円集まる。50名が参加。

〈第三弾〉「淀川上りツアー」で47名の貸切予約で準備するも、台風接近のため運航中止。

⑥「なくそう過労死！ 札幌、小樽、函館の旅」

6月2日～5日 札幌で開催された「過労死防止学会」（北海学園大学にて）に20名が参加。

⑦損保代理店『院内集会』に134名集う

11月2日「『災害列島日本』で社会的役割を果たす損保代理店『院内集会』」が実行委員会主催で取り生まれ、全国から国会議員、代理店経営者、現役従業員など134名が参加。金融庁保険課・横尾光輔課長が講演。多くの参加者が現状について発言しました。

⑧多くの集會に参加

(1) 3月10日「なくせ原発！ 再稼働反対！ 3・1メモリアル集會」 840名 損保から24名が参加。

(2) 5・3「安倍9条改憲許さない おおさか総がかり大集會」 於扇町公園 2万人 損保から47名参加。

(3) 10月18日「明日の大阪をつくるスタート集會」於中央公会堂 損保から15名参加。

(4) 11・3「輝け憲法！ 9条改憲ストップ！ ともに生きる社会を！ おおさか総がかり集會」於扇町公園 12000人 損保から21名参加。

(5) 過労死防止と「働き方改革」の集いに参加。3月9日、4月20日。



⑨代理店プロジェクト會議・今年9回開催

2008年2月からスタートした「代理店プロジェクト會議」は今年度9回を含め91回開催、のべ人数1700名です。今年も「代理店シンポジウム」「近畿財務局への要請行動」、実行委員会で取り組まれた「院内集會」にも積極的に参加しました。

⑩結成20周年記念誌「20年の歩み」編さん進む

「次の10年へ 状況を変えよう！」冊子 新年2月刊行の予定。

絵てがみ教室作品集

